

告 示

令和6年度昇給額につきまして、団体交渉の結果、
下記の通り妥結致しましたのでご通知致します。

< 記 >

妥 結 額	組合員一人平均	5,000 円(定期昇給)
		1,000 円(ベースアップ)
	合計	6,000 円

令和6年6月給与分より

以 上

令和6年6月24日

中北薬品労働組合

中央執行委員長 渡邊 将隆
公印者略

告 示

令和6年度夏季一時金につきまして、団体交渉の結果、下記の通り妥結致しましたのでご通知致します。

< 記 >

妥 結 額 組合員一人平均 430,000 円(1.54 ヶ月)

支 給 日 令和6年7月10日

以 上

令和6年6月24日

中北薬品労働組合

中央執行委員長 渡邊 将隆
公印者略

組合員各位

委告06-57-1

告示の通り、6月14日開催の第4回団体交渉に於きまして「令和6年度昇給額」並びに「令和6年度夏季一時金額」の回答を会社より受け、昇給と夏季一時金は妥結致しました。

団体交渉の要点

令和6年度昇給につきましては、直近1年間の消費者物価指数平均が2.99%の上昇となっており、また新人事制度移行に伴い調整給の減額が始まる組合員から不安の声が多いことから物価上昇に負けない昇給金額として基準内賃金の3%である8,917円の要求であること、夏季一時金については、5期ぶりの営業黒字は現場の頑張りだけではないが、167期最重要事項である営業黒字化のために、現場は利益に拘った厳しい価格交渉を行ってきたことや行動フィーへの取組、販管費削減に繋がる配送回数や当番対応の適性化を進めてきたことが多少なりとも営業黒字という結果につながったということ、今回の要求金額に求める現場の期待値は大きいという意見を受け、50万円の要求金額となったことを会社に伝えました。

交渉の中では、組合の要求は167期の営業利益の大半を昇給原資に割くことになるが、その状況からスタートして、まず今年度赤字にならないことが前提条件であること、そして今回の昇給が今年度の決算に大きく影響することを踏まえ、冷静に分析した上での要求であるのか、との指摘がありました。薬価改定による市場の減少、コロナ治療薬の販売減少、コロナワクチン販売不透明、ファイザー等の取引が減ったことによって販売額200億円が先期と比べ減る予測である中で、今後何で賄っていくのか、今期どうやって利益を獲得するのか。今期赤字となれば、さらに取引メーカーがなくなる可能性もある。この状況を組合員全員が本当に理解できているのか。リスク要因が多い中で、危機感が足りないのでないかとの指摘を受けました。また物価やエネルギーコストが上昇していることは理解しているが、消費者物価指数等の社会の平均値ではなく、具体的に何がどれだけ上がったのか、組合員の生活がどれだけ変わったのか、具体的な数値が足りないとの指摘も受けました。

会社側からの指摘を受けまして、組合員4名に協力いただき家計簿から実際組合員の生活がどのように変わったのかを提示しました。また安定した利益の獲得には自社製品の販売が欠かせないこと、手指消毒剤の期限切迫による利益損失を防ぐためにも組合も一丸となって販売していく、そのための販促キャンペーンを今後実施していくことも会社側に伝えました。

その後会社より昇給組合員一人平均5,000円 ベースアップ1,000円
夏季一時金組合員一人平均43万円の最終回答があり、組合執行部一任の上で妥結いたしました。

以上が団体交渉の経緯となります。

今回の交渉では、昇給、一時金ともに要求と妥結金額に大きな乖離が出た結果となりました。167期は5期ぶりの営業黒字となったものの、組合からの要求に対し満額回答できるだけの利益が出ていないということです。ただ、会社としても組合員の日頃の努力を最大限評価して頂き、会社として提示できる最大限の回答を頂けたと理解しております。今期もリスク要因が多い中ではありますが、組合としても会社の事業計画「未来のために今からすべきこと」Towards The 300 Building the future をしっかり理解し、会社の健全な発展と組合員の皆様の豊かで充実した生活の実現の為、関係部署と連携し活動を行ってまいります。

最後に、これまでの組合諸活動、そして団体交渉へのご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

令和6年6月24日

中北薬品労働組合

中央執行委員長 渡邊 将隆

公印者略